



平成29年度おおい町立郷土史料館講座

長楽寺の仏像 をめぐって

平成29年11月19日(日) 午後1:30～
場所／おおい町立郷土史料館2階研修室

入場無料・定員40名(申込不要)

真言宗慶長山長楽寺が所蔵する木造阿弥陀如来坐像(重要文化財)は、上品上生の弥陀定印を結ぶ丈六の阿弥陀像で、おおい町内で最も大きく、木造多聞天立像(重要文化財)とともに若狭地方でも優れた仏教彫刻の一つに数えられます。

この二尊は本格的な中央(都)の作で、平安時代後期の制作と推定されます。

仏像は信仰の対象であると同時に、美術品としての側面をもっており、日本の歴史や文化を考えるための魅力的な素材でもあります。

本講座では、仏像の魅力や仏教彫刻史からみた長楽寺の仏像についてご講演いただきます。

講師 京都市立芸術大学 准教授

と な み けいし ょう

礪波 恵昭氏

大阪府出身

京都大学文学部哲学科(美学美術史学専攻)卒業後、京都大学大学院文学研究科博士後期課程(美学美術史学専攻)中途退学、奈良国立博物館学芸課研究員、京都市立芸術大学美術学部専任講師を経て、現在は同大学の准教授。日本の仏教彫刻史について様式史を中心に研究。

KBS京都「京都・国宝浪漫」「京都浪漫～美と伝統を訪ねる～」に出演し仏教彫刻について解説。著書に『日本古代の半跏思惟像をめぐる考察』など多数。



おおい町立郷土史料館・松木庄吉美術記念館

〒919-2104 福井県大飯郡おおい町成和2-1-1 TEL.0770-77-2820 FAX.0770-77-2821



■ JR 小浜線
若狭本郷駅下車
徒歩約15分

木造阿弥陀如来坐像(重要文化財)